

令和5年度

上勝小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○学習活動を充実させるための授業づくり

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
古田 有美	校長:川村 恭弘 指導教諭:古田 有美 教頭:森岡沙緒里 研修主任:上田 早代

校長

川村 恭弘

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○まじめに学習に取り組み, 自分のペースで課題を行うことができる。 ●文章を正確に読み取ったり, 身につけた知識等を関連付けたりすることに個人差がある。	・問いの意図を正しく理解することができる。 ・基礎的・基本的な学力を身につけ, 習得した知識や技能を他の学習や生活の場面において活用することができる。	・活字に関わる時間を増やし, 活字への抵抗を減らす。 ・児童が興味をもって学習に取り組めるように, 発問や問題提起を工夫したり, 知識・技能の習得の助けになるヒントカードを用意したりする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを様々な方法で発表できる児童が多い。 ●課題に応じた情報を取捨し, 友達の意見を聞いて新しい考えを創造したり, 自分の考えを簡潔に表現したりすることに課題がある。	・各授業において課題等に対して, 話し合い活動等を通して, 解決する方法を考えることができる。 ・目的に応じて, 自分の考えをまとめたり, 表現上の工夫をしたりすることができる。	・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・目的や伝えたい内容に合った思考ツールを活用させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業や与えられた課題に一生懸命取り組むことができる。 ●学習したことを自分の生活に生かしたり, 自分の考えを他者へ伝えたりすることに課題がある。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返ることができる。	・児童の発言などから本時のめあてを作成したり, 次時につながる振り返りを行い, 課題をもたせたりする。 ・考えるときに, 児童にモデルを提示し, 自分の言葉で記述させる。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

